

ひがしからかわ



親子野菜作り体験の様子
詳細はできごと情報へ

今月の村長室から

○「日本で最も美しい村」連合加盟に向けて

七月十三日、十四日に「日本で最も美しい村」連合の資格審査委員二名を迎え加入審査を受けました。審査は、役場でのヒアリングと呼ばれる聞き取りと母樹林等の現地視察を行いました。

「日本で最も美しい村連合」は、平成十八年に北海道美瑛町や岐阜県白川村等が中心となり七町村が参加して結成されました。現在、全国で三十六町村と三地域が加盟しています。岐阜県内では下呂市馬瀬地域が加盟しており、どの地域もいずれ劣らぬ美しい風景を持つ地域ばかりです。加盟基準は「人口が概ね一万人未満」「景観、環境文化に分類される地域資源が二つ以上あること」です。もちろん本村はその基準を十分満たしていると思っております。しかし、村の美しさをいかに維持し、どのような形で後世に残していくかが審査のポイントであったと思えます。

仮に加盟出来ない結果になっても、今回立候補したことを契機に、村民が美しい村であるという誇りを持って、皆で自然を守っていくという意識を持つことが大切だと思います。それが現在取り組んでいます官民協働や農地を守るといった意味にも繋がります。

○美濃東部農道が一部通行可能に

工事が進められている美濃東部農道の一部が完成しました。一日より新大口橋から久須見集落まで通行できるようになりました。トンネルはまだ通れませんが、多くの皆さんにご利用頂きたいと思っております。

着工以来長い間皆様にご迷惑おかけしましたが、多くの方々のご理解と、工事関係者の努力により、来年春にはトンネルを含めて完成の予定です。

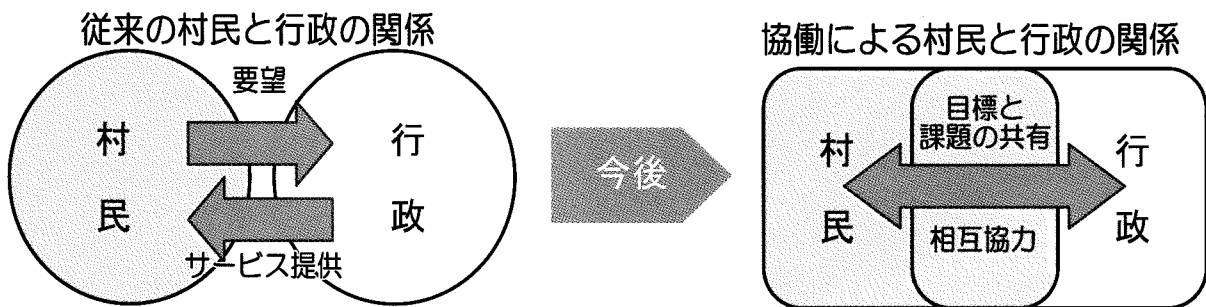
東白川官民協働の村づくり

～私たちの村… このままでいいの？～

今、村には少子高齢化、過疎化、後継者不足…など、さまざまな課題が山積しています。このまま、指をくわえて見ていていいのでしょうか？

子どもたちや孫たち、子孫のために、これからの村はどんな方向に進めていくことが最適なのでしょうか？

《今後の「協働のむらづくり」イメージ》



なぜ協働の村づくりを進めるのか

これまでの村づくりは、村が中心となる「行政主導」で「村全体に、同一の方向性で」公共サービスを提供してきました。しかし、例えば農業面一つを考えても、村で一つの方向性でいいのでしょうか。大明神と大沢では標高差も違えば気温も違います。村の中でもいろいろな面で状況は違います。その土地にあったビジョンが必要ではないでしょうか。

また、財政面からいってもこれからの村づくりを、行政主体で考えていくには厳しい時代になってきます。

そこで「官民協働」という考え方がこれからは必要になってきます。「私たちの地域は、私たちの村は、私たちが守っていく！」意識こそが官民協働という考え方の根本です。

目指すべき官民協働の仕組み

これまでの東白川村での取組みを活かしながら、行政や民間、さまざまな立場のみなさんが同じ未来像へ向かって、「ワークショップ形式」で地域社会の課題を解決するための改善計画を立てたり、その計画にそって進めていく形が理想です。

これまでのさまざまな仕組みの検討は、「現在の問題点を解決することが目標達成」というアプローチの

仕方でした。それは、目先の課題を解決しながら進む手段で安全な道筋でゴールへ向かっていく方法です。

しかし、この方法では、「課題が無ければ行動を起こせない」や「目の利益確保」、「実現できそうなものを重視」といった、やや貧弱な発想の中での目標設定となる場合があります。

それに代わって、今回はまず「村民がこうありたいと思う将来の東白川村の姿」を描き、これを実現するための課題を考え道筋を描く、といった手法により官民協働の仕組みづくりを検討します。これは、高い目標の設定であっても、それを実現するために課題を一つひとつ解決しながら前向きに考えていく方法です。

官民協働を進めるために

官民協働への取り組みとして、今年度はまず勉強会からスタートしたいと考えています。住民の皆さんそれぞれにいろいろな考え方があり、思いがあります。そうした意見を集約し、よりよい方向につなげていきたい。そのため官と民が本当の意味で手を取り合って、村づくりを進めていく方向を見出すことがこの事業の最大のねらいです。

東白川村 官民協働のための勉強会がスタートします

目的

①村を知る（現状把握）

東白川村がこれまで歩んできた歴史や取り組みの検証と東白川村の現況を把握することで地域の課題を明確にします。そして、村民共有の将来像を構築することによって、この村の将来の方向性（ビジョン）を見いだすために行います。

②ワークショップを開催する

住民が中心になって地域の課題を解決しようとする場に、ワークショップの手法がよく用いられます。これは地域づくりにおいて、地域や集落、各種産業や団体に関わる様々な立場の人々が自ら参加して、地域や集落などの課題を解決するための改善案を見いだして、進めていくための共同作業を称します。その内容は、集落の景観づくりや道づくり、公共施設の計画、集落の将来や村の将来ビジョンの策定など多岐にわたります。その取り組みが、官民協働の住民参加型会議です。

③官民協働のむらづくりを進める人材を育成する

官民協働のむらづくりを進めるにあたっては、住民参加型の村づくり会議や勉強会を行うにおいて、中立な立場を保ちながら話し合いをコーディネートしたり、会議をスムーズに調整しながら合意形成や相互理解に向けて深い話し合いがなされるよう調整する役割を担う人材（＝ファシリテーター）が不可欠です。いわば、官民協働のむらづくりの牽引役のような人材を育成します。

勉強会の概要

●勉強会取り組み内容

東白川村の「官民協働のむらづくり」を進めるために、村の現況や先進事例を勉強し、「村民」「行政」「議会」の役割を再度確認して、今後の東白川村のあるべき協働の姿について検討します。

勉強会取り組み内容（予定）

第1回勉強会（H23年8月予定）

テーマ：理想のむらづくりを考えよう【座談会】

・村の現況の確認、先進事例の研究をおこないます。

第2回勉強会（H23年9月予定）

テーマ：協働の取り組み事例について理解を深めよう【視察等】

・先進地視察などにより、協働のまちづくりについて理解を深めます。

第3回勉強会（H23年10月予定）

テーマ：協働の仕組みを考えよう その1【ワークショップ】

・協働のあり方を検討し、目標を設定します。

第4回勉強会（H23年12月予定）

テーマ：協働の仕組みを考えよう その2【ワークショップ】

・協働の組織のあり方などを検討します。

第5回勉強会（H24年2月予定）

テーマ：協働の仕組みを考えよう その3【座談会】

・東白川村の官民協働組織のかたちを決定します。

できごとと事情

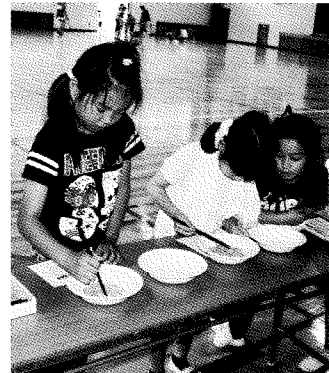
○加茂郡消防操法大会

第五十五回加茂郡消防操法大会が、六月十九日坂祝町総合運動場で開催され、本村から出場した第三部自動車班（平）が見事三位入賞を果たしました。また平の田口侑助さんが、三番員で個人表彰を受けました。

三位に入賞した、第3部 自動車班の皆さん



○子ども会ふれあい大会



豆つまみ皿移しの様子

恒例になっている「子ども会ふれあい大会」が、六月二十五日小学校で行われました。

参加者のうち低学年は体育館に移動してこども会活動の説明を聞き、中学生のジュニアリーダーの指導でレクリエーションやチャレンジランキングを楽しみました。

高学年が行うキックベースには九チームが参加。三チームづつに分かれて予選リーグ戦を行い、各リーグの一位チームが決勝トーナメントに進みました。

全十一試合の熱戦の結果、親田チームが優勝しました。

【結果】

- ▼優勝 親田チーム
- ▼準優勝 五葉Bチーム
- ▼三位 平ガンバローズ
- ▼特別賞 大明神チーム

○小学校三年生親子会

小学校三年生の親子会が、六月二十六日に宮代オートキャンプ場で行われました。今回は、野外でのダッチオーブン料理を通して、親子の共同作業とふれあいの場と想い出を作ることが目的です。

子どもたちが、積極的に野菜を切ったりするなど進んで料理に挑戦する姿が印象的でした。出来上がった料理も好評で、子どもたちから「野菜が甘くておいしい」との声が上がっていました。

保護者からは、「普段できない、親子での料理ができて、とてもよい体験になった」「自分から進んで料理をしていたし、料理も上手だねと褒められていたようよかった」との声が聞かれました。また、三年生の担任の西浦いづみ先生は、

「親子で共同作業を行って、普段の授業とは違う姿を見ることができてよかったです。子どもたちもよい体験になったと思います」と感想を述べていました。



料理の様子

○収穫が待ち遠しい

六月二十六日、陰地のトマト選果場横のピニールハウスで、「親子で野菜づくり」が行われました。主催するのは園芸振興会です。農業の担い手確保の一助になればと昨年からの実施しています。参加したのは十二組の親子二十八人。とうもろこしと枝豆の苗を植え付けました。楽しみな収穫は八月下旬の予定です。



昼食は、手づくりの朴葉寿司



熱戦が続いたキックベース



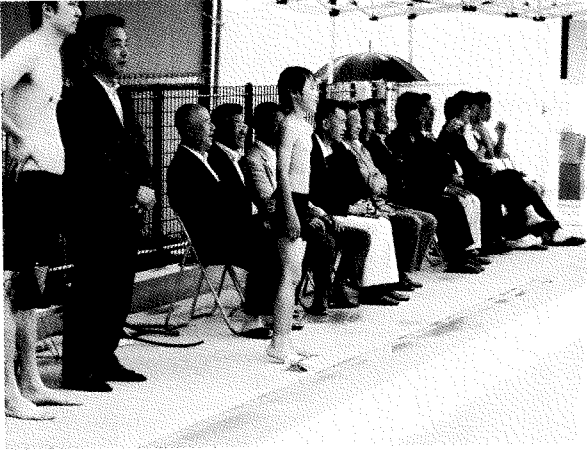
味は大好評でした

ひがししらかわ

○歓声が響きました

昨年九月から改修を進めていた小学校プールの竣工セレモニーとプール開きが、六月二十三日に行われました。昭和五十五年の開校から利用されてきたプールは、数度の改修を行ってきましたが、今回は特に安全面に重点を置いた大規模な改修となりました。プールサイドを滑らない素材に全面張替、プール内面の塗装、フェンス取り替え、濾過機取替え、スタート台撤去など総額二千八百万円をかけての改修です。

「新しいプールで心と体を鍛えてほしい」と安江村長があいさつした後、水温二十四・五度雨が降り肌寒い中でしたが、子どもたちは歓声をあげながら元気にプールに飛び込んでいました。



○社会を明るくする運動

七月は「社会を明るくする運動」強調月間です。七月は「社会を明るくする運動」強調月間です。

「社会を明るくする運動」はすべての国民が、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪のない地域社会を築こうとする全国的な運動で、今年で六十一回目を迎えます。

七月一日、村の保護司と更生保護女性会が村長室を訪問し、法務大臣からの親書を安江村長に手渡し、運動に対しての協力を呼びかけました。引き続き学校を訪問し、運動の啓発が行われました。

○人権擁護委員が代わりました

人権擁護委員は法務大臣から委嘱されます。任期は三年間で、年四回「くらしの相談所」を開設するなど人権の擁護活動や相談活動を積極的に進めています。

今回、三期九年間お勤め頂いた、今井恒行さん(大口)から、安江吉信さん(西洞)に代わられることとなりました。

【東白川村人権擁護委員】

- ▼安江 吉信 (西洞)
- ▼村雲美知子 (日向)



今井さんに感謝状が贈られました。

○家族で夏の思い出を作りませんか？

夏といえばアウトドアが盛んな季節でもありません。村民の皆様の中には家族でバーベキュー等を計画している方もあるかと思いますが、公園などを使いたい、けれど使い方や問い合わせ先がわからないということがあられるかもしれません。今回は主な公園の問い合わせ先を紹介します。

- ・中川原水辺公園
役場 産業建設課 建設係
(有線8・3111 内線280)
- ・はなのき公園
管理者 桂川幸 (黒淵)
(0574・78・2539)
- ・瀬音公園
管理者 安江明夫 (陰地)
(0574・78・2705)
- ・つちのこ公園
管理者 島倉正量 (下親田)
(0574・78・2383)
- ・宮代オートキャンプ場
管理者 NPO法人青空見聞塾事務局
(080・1615・7700)

※なお、施設を利用する際には利用料がかかります。

※利用する際に出たゴミは、各自でお持ち帰り下さい。

東日本大震災の義援金送付先
日本赤十字社
二百六万六千七百三十三円

社会福祉法人中央共同募金会
二百六万七千九百六十三円

岩手県 普代村

合計

五百七万四千三十六円

(六月三十日現在)

誠にありがとうございました。

●図書室休室のお知らせ

七月一日から十月三十一日まで、役場別館(旧村民センター)改修工事のため図書室を休室しています。この期間中は図書の貸し出しはできません。ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

教育委員会



食品安全セミナーのお知らせ

消費者の皆様は食の安全性について正しく学んでいただきます。(定員四十名 先着順)

○日時 八月三十一日(水)
八時三十分～十六時三十分

中濃総合庁舎集合

○内容 高山市内の特別栽培米生産地及びJ.A飛騨ミートの見学、食の安全に関する講義

○参加料 無料(※昼食持参、希望される方には実費(千円以下)で準備)

○募集期間 八月一日(月)～八月十二日(金) 必着

○申込方法 はがき・FAX

○申込方法 はがき・FAX

で「食品安全セミナー参加希望」と明記し、氏名・住所・電話番号・昼食申込の有無を記入して申し込みください。電話でも可。

○申込・お問い合わせ先 岐阜県生活衛生課 食品安全推進室

〒500-8570

岐阜市数田南二丁目一

TEL 058-272-

8284 FAX 058-278-2627

短歌



幼き日の落穂拾いの想い出がミレーの名画の風情にも似たる

人の世をいかに生きむか夜もすがら友と語りし遠き若さよ

盆近しアサギのユカタ手掛けしも暑さに針もきしみて進まず

曾孫の天使のごとき澄んだ目に未来を思う幸多かれと

水割りの水クルリと溶け始むグラスを揺らし心を揺らす

朝まだき小窓の白きに驚きて開ければつもる夜半の初雪

山栗の小さき実にも甘さあり茹でしその実に秋を味わう

硝子戸の腰丈ほどに吾子のかきしクレヨンの跡しばし見ている

山の端に太陽の出る瞬間が何より楽しみ早起させねば

舗装打ち小雨の散るは面白く幼なが湧きぬ線香火花

亡き友を偲びて迎ふ終戦の日君は還らず若き日のまま

(平成十年七十八歳退職)

三十年の職場去らんと見上げたる山脈遠く黄砂にかすむ

千里浜の渚行くバスに居て山住みの吾海を見飽かず

(平成十九年発行 木の实会短歌集【第一集】から)

今井 米子

今井 光彦

荇田 良香

荇田 清美

小林 道子

田口かずみ

早瀬 久子

古田 緑

安江 嘉子

安江 守平

安江 嘉久一

安江とくよ

安江 澄

人口の動き

—6月末住民登録人口から—

世帯数	875世帯
人口	2,709人
(男1,293人 女1,416人)	
転入	5人
転出	5人
出生	2人
死亡	2人
先月と比較して	0人減
昨年と比較して	49人減

編集後記

▼夏本番を迎えました。間もなく小・中学生は三十九日間の夏休みになります。地域の活動に参加する機会も増えることでしょう。次代を担う子ども達を村全体で見守っていきたいものです。▼また、この時期は厳しい暑さが続きます。こんな時に心配なのは、熱中症です。屋外での作業はもちろんですが、家の中においても発症すると言われています。いつも水分補給に気を付け、作業は休憩を取りながら、家の中では室温管理に十分配慮してください。▼元気に夏を乗り越えましょう。(A)

H23・7・15

発行／東白川村役場TEL0574(78)3111
IP0501600017000
岐阜県加茂郡東白川村神土548

編集／東白川村広報誌編集委員会
印刷／下呂印刷株式会社